

よみがえれ！有明海・国会通信

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

諫早開門集会 議員 21 名参加



漁民に失策押し付け

佐賀ノリ漁民訴え

3月17日、諫早干拓問題に関する院内集会(主催よみがえれ！有明訴訟原告団・弁護団)に与野党の21名もの議員(一部代理)が参加した。

漁民を代表し、佐賀県大浦のノリ養殖業大鋸武浩(39)は「1月初めに張った冷凍網が、1月7日に300トンの排水門からの排水がなされたため、赤潮が発生し、色がみるみる落ちて、網を上げなければならなかった。ほとんど収入がなく、生活が苦しい」「有明海の子宮と言われる魚の産卵場所を締め切つて魚が取れるわけがない」「なぜ、有明漁民に政策の失敗を押しつけるのか」と訴えた。

自民党議員

【広津素子(以下敬称略)】今までの公共事業は生態系のことを考えていかなかった。生態系のことを考えられる人が少なかった。あともう少しだと思つています。がんばつていきましょう。

民主党議員

【谷博之】ご指摘いただいている点については、私も協力させていただきたいと思つています。共にがんばりましょう。

【岡崎トミ子】有明海排水門開門という気持ちで一緒にがんばりたい。

【松野信夫】開門を勝ち取るまで共に頑張らしましょう。

【犬塚直史】諫早の漁民はもちろん、その背後地で干拓の営農をしていた人も、担い手がない。跡継ぎがない。今後この干拓地で農業をしようとする人がいない。漁業者も農業者も環境も大変。これだけ八方ふさがりの中で、未だに出口が見えないのは、まさに政治の問題。ピンチはチャンスといえます。ここから次世代のこれからの見えるような方向でがんばつていきたい。

【大串博志】諫早湾干拓事業においては、止まらない公共事業が実行され、それによって有明海に大きな異変がおき、有明海に住む私たちに大きな影響が起きています。石破農水大臣は「予期

せぬ被害があるかもしれないから開けられない。予期せぬ被害とは予期できない」と繰り返している。大臣自身、禅問答だと自らの答弁の中で言った。前代未聞である。このような中、今年の冬、今まで経験がなかったような赤潮によるノリの被害が生じている。ノリ漁業の人々の年収が半分とか三分の一になつている。力を合わせて頑張つていきたい。

【喜納昌吉】この問題は国益と地球益というテーマ。地球益に目覚めていく必要がある。地球は人間だけのものではない。【古賀一成、金田誠一、原口一博、川崎稔、加藤公一、以上代理出席】

共産党議員

【赤嶺政賢】有明の漁業の再生に向け、これまでも、これからも一所懸命取り組んでいきます。

【仁比聡平】海を壊すことがどれほど罪深いのか、後世にどれほどの罪を負わせるのか、政治家は思い知るべきだ。有明海の今年の被害について、今日午前中、佐賀県議会で今年1月に行われた排水門からの排水と赤潮の発生が期を一にしていて因果関係は明らかだと主張している。これほどの深刻な事態を有明の漁民に押しつけている。このまま許すのか。海は皆のものであり目的もなく壊してはならない。開門により有明海を再生させる、諫早の漁業と農業の共生をしていく。

社民党議員

【近藤正道】私の実家は鮮魚の仲買をやっており、漁民の生活はよく承知しているつもりです。皆さんが、こんな色のノリを持つて、現状を訴えられているのを見るのは辛い。圧倒的な世論、科学者の目が味方をしていて。ここで勝たなければ、この国の生態系に未来はない。【保坂展人、照屋寛徳、山内徳信、以上代理出席】

無所属系議員

【川田龍平】経済的合理性がないという泡瀬の判決を活かして有明海の排水門を開いていかねばならない。

【糸数慶子】諫早の皆さん、日本に残されている自然を守る活動をされている皆さん、ありがとうございます。私たちの税金はもつと大切なところに使われるべきです。【外山斎、代理出席】

公害弁連 開門決議

3月29日、全国公害弁護団連絡会の総会が都内で開かれ、全国から公害環境問題に取り組み130名の弁護士が参加した。総会では満場一致で「諫早湾干拓潮受堤排水門の開放を求める決議」が採択された。決議は、農水省が予定する開門アセスを前提にしながら、国に対し、開門アセスの結果を待たずに直ちに排水門を開門すること、その実現のために有明海の漁業者らと協議を行うことを求めている。公害弁連は30日、農水省に申し入れを行う。